

2022年度入学試験

「総合歴史」部門

新設

青山学院大学大学院 文学研究科 史学専攻

青山学院大学大学院文学研究科史学専攻では、従来の日本史部門・東洋史部門・西洋史部門・考古学部門に加え、2022年度より「総合歴史」部門を創設し、新しい授業科目を設けます。高等学校の新しい学習指導要領で必修になる「歴史総合」に対応するものです。現役の高等学校の先生や教員を目指す方々をはじめ、歴史を幅広い観点で学ぼうとする方々にとって魅力のある新しい部門になると考えています。

文学研究科史学専攻・
大学院説明会

日時：2021年10月23日(土) オンラインで開催
※参加方法等は、本学史学科サイト「ニュース」を参照願います

本学史学科サイト <http://www.cl.aoyama.ac.jp/history/information/news.html>

大学院史学専攻に「総合歴史」部門を新設します！

◎新部門「総合歴史」につき、以下のQ&Aをご参照ください。

Q 取得学位は、なんですか。また、どのような単位履修が考えられますか？

A 取得学位は修士(歴史学)です。授業は、「総合歴史」配置の授業(8単位)を履修してください。加えて、日本史・東洋史・西洋史・考古学部門の大学院授業を22単位以上(合計30単位以上)履修します。修了要件単位のうち、研究指導教員および当該授業科目担当教員の許可を得て、文学研究科の他専攻および他研究科の授業単位を10単位以内に限り、履修することが認められています。

Q 修了年限は、通常何年でしょうか？

A 標準修了年限は、2年です。ただし、上記の必要単位を取得した上で、修論もしくは修論に代わる研究成果を提出し、審査を受け合格すれば、1年での修了も可能です。また、最大で4年の在学期間で修了することも可能です。

Q 修了要件単位の全部をオンラインで取得することは可能でしょうか？

A 現在のところ、「総合歴史」部門以外は、1~5時間開講の対面授業で行われています。したがって、オンラインのみで修了することは出来ません。この点、ご注意ください。

Q 教員免許状更新講習に認定されている授業でしょうか？

A 教員免許の更新講習として認定される授業ではありません。ご注意ください。

Q 研究指導教員は必ず選ばなければいけないでしょうか？

A 研究指導教員は必ず選んでください。史学専攻大学院指導教員の中から、興味のある専門分野にしたい、希望により選択が出来ます。

Q 「総合歴史」部門の授業のみ履修することは可能でしょうか？

A この「総合歴史」部門の授業のみの履修ならば「科目等履修生」として履修が可能です。この部門の授業は、6時間(18:30~20:00)にオンラインで行います。日中に勤務があっても、講義への参加は可能と考えられます。

Q 高等学校の教員を志望する学生に適しているとのことですが、史学専攻に入学後に「地理歴史」の教員免許を取得することは可能ですか？

A 史学専攻入学後に教員免許科目を履修することは難しいです。学部生の時に「地理歴史」の教員免許を取得してください。なお、博士前期課程修了後に、一種免許状(学部を卒業することで取得できる免許状)を基礎にして、「専修免許」の取得が可能です。

Q 「総合歴史」部門を履修するメリットはなんですか？

A この授業は、専門分野を横断する形で、史学専攻の教員が総力を挙げて、オムニバスで授業を担当します。また各分野で最先端の研究を行っているゲスト講師も招きます。歴史を学際的、国際的視点で学ぶことが出来ます。日本史と世界史の関連性を重視して総合的に講義します。講義と演習に主体的に参加することで、グローバルな視点を養い、現代社会のあり方や諸課題について考える視点を養うことが出来ると思います。